

外務省所管 平成 29 年度補正予算（第 1 号）における「個別プロジェクトにイヤマークした任意拠出金」の成果目標一覧

北朝鮮問題への対応
(主にコンセプト・ノートに基づく暫定版)

(注意事項)

- ① 現段階の成果目標は、暫定的に外務省限りで作成したため、今後、相手国政府または国際機関等からの最新の情勢等に基づいた要請により、内容に変更が生じる場合がある。
② 追加予算額は「億円」単位とし、原則としてそれぞれ小数点第 2 位を四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合計]	成果目標 (暫定版)
北朝鮮問題への対応 (国連薬物犯罪事務所、武器 貿易条約、世界税関機構、南 太平洋大学)	北朝鮮問題への対応のため の支援(各国際機関等を通じ た関連安保理決議の厳格な 履行のための支援)	国際連合薬物犯罪事務所 (UNODC) [合計 1. 8 億円]	南アジア諸国及び東南アジア諸国を対象として、当局関係者の捜査能力や法整備能力の向上を図る研修やワークショ ップ等を実施し、北朝鮮制裁を完全に履行する観点から、当局間の連携を強化するとともに大量破壊兵器拡散に繋がる 資金調達や違法取引の防止を目指す。
		武器貿易条約任意信託基金 [合計 3. 3 億円]	北朝鮮に対する国連安保理決議の緊急かつ実効的な対策を講じるため、通常兵器の不正な移転を規制する初の国際的 枠組みである武器貿易条約(ATT)の履行促進のために設置されている任意信託基金(VTF)を通じ、国境管理 当局者の能力向上、管理リストの精緻化等の輸出入管理体制の強化を目指す。
		国際連合軍縮部 [合計 0. 7 億円]	北朝鮮に対する国連安保理決議の緊急かつ実効的な対策を講じるため、地域の海上交通の要衝にあたるトーゴ(西ア フリカ地域)及びマダガスカル(南アフリカ地域)において、貯蔵武器の防護及び管理等に関するワークショップを 開催し、貿易管理当局者の能力向上を目指す。
		国際連合開発計画 (UNDP・スポンサーシッ ププログラム基金) [合計 0. 3 億円]	武器移転の規制に係る国内制度や体制が脆弱な国家の当局職員による武器貿易条約の関連会合への参加を支援する ことで、当該国の貿易管理の運用強化を図り、もって対北朝鮮制裁の実効性の向上を目指す。
		世界税関機構 (WCO) [合計 3. 5 億円]	西部・中部アフリカ地域諸国を対象に、即席爆発装置(IED)に使用され得る前駆物質の不正取引等の取締を強化 するため、税関当局等の能力強化とこれら機関の域内の間の連携強化に向けた訓練等を実施する。
		南太平洋大学 (USP) [合計 2. 25 億円]	太平洋島嶼国において、北朝鮮に関連する国連安保理決議の実施及び海洋を含む法執行の分野における政府の能力強 化のための人材育成を実施する。
北朝鮮問題への対応 (国連人権高等弁務官事務 所への追加拠出)	北朝鮮の人権状況改善に向 けたOHCHR関連部局の 能力強化	国際連合人権高等弁務官事 務所(OHCHR) [合計 2. 0 億円]	拉致問題を含む北朝鮮の人権状況の改善が一層緊急性を増している中、同状況に改善が見られないことから、状況改 善に向けたOHCHRの取組を一層推進させるべく、関連分野におけるOHCHRの能力強化及び取組を支援する。
北朝鮮問題への対応 (国連を通じた大量破壊兵 器への対応)	新たな段階の脅威となっ ている北朝鮮の大量破壊兵器 への対応強化のための事業 実施に必要な資金を国連軍 縮部に拠出する。	国際連合軍縮部 (UNODA) [合計 1. 0 億円]	各国の国内当局者や専門家の生物兵器に対する危機意識、取り扱い知識を高め、北朝鮮からの生物兵器の流失への対 応を各国が実施をとれるように促す。また、各国の国内当局者、専門家の啓蒙を行い、生物兵器の元となる毒素等が 北朝鮮関係者やテロリストの手に渡ることがないように、厳格な管理体制の構築を促し、生物兵器の流通・拡散の防 止も図る。